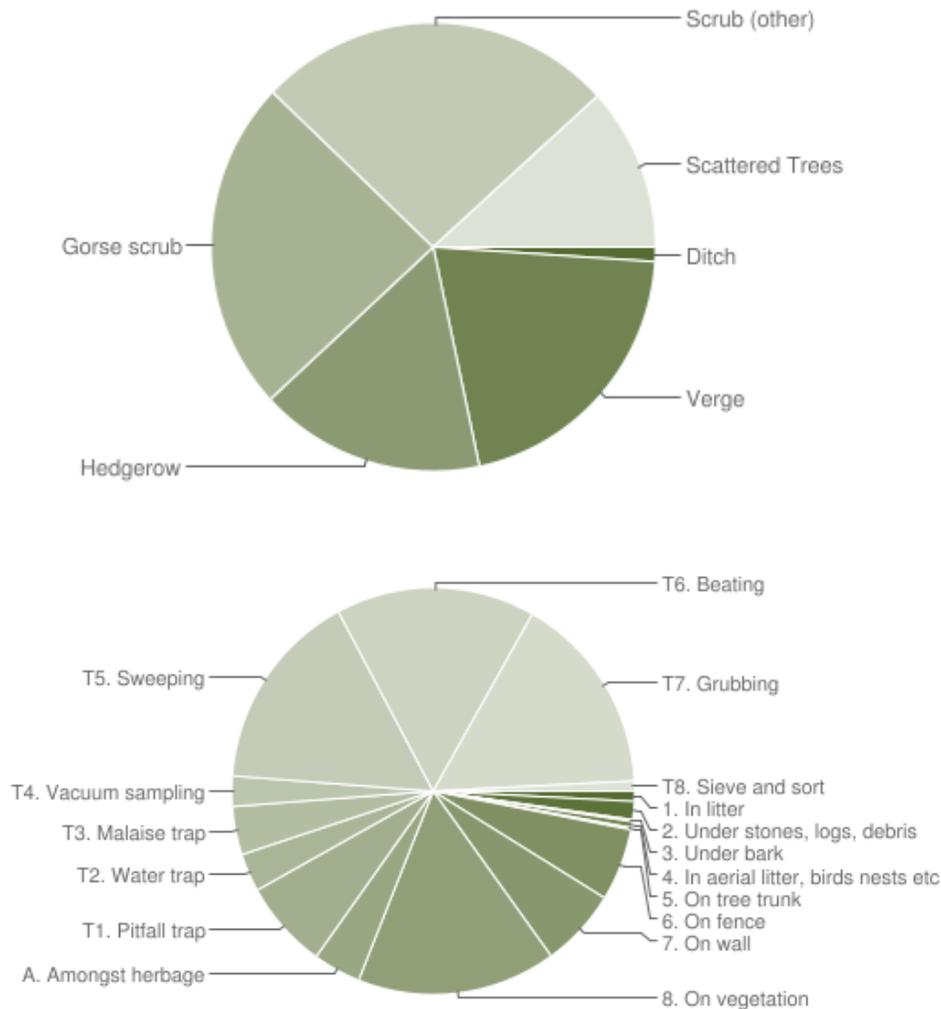


環境データをどう集積するか

池田 博明

東京クモゼミ 6月話題

クモの生息環境の集積 英国の例



低木 藪
まばらな林
水路
林縁
生垣
エニシダ低木

生息環境の記録

- 『クモ基本60』編集過程で種ごとに生息環境を記述したいという案が出たものの、きちんとしたデータがないということで見送りになった。
- ちなみに、英国蜘蛛学会ではホームページで種ごとに生息環境データを蓄積している。
- その方法は枚挙主義である。あらかじめ設定したフォルダにデータを分類していくのではなく、記録された環境をそのまま枚挙していくやりかたである。コンピュータ時代に適している。

採集層および採集法 < 案 >

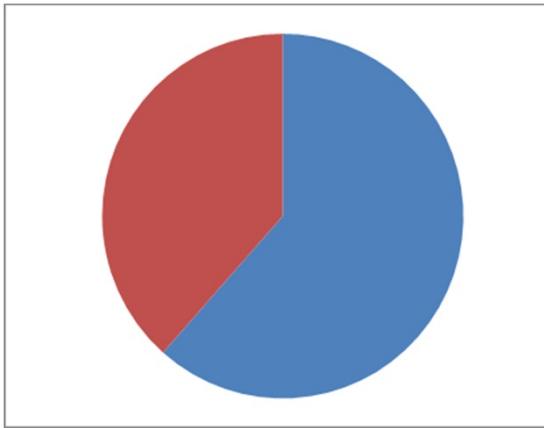
- Over-head level 2.0m以上の高さ
- Bust level 2.0m ~ 50cm
- Nee level 50cm ~ 5cm
- Foot level 5cm 以下から下

Bust levelはBeatingに対応 今回植生はshrub
or scrub, bush

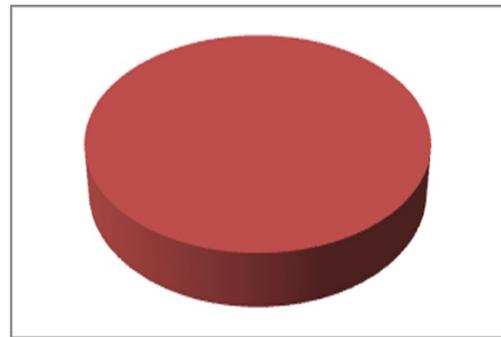
Nee levelはSweepingに対応 植生はgrass

Foot levelはShiftingに対応 植生はlitter

例 クサグモ幼体 真鶴 23, May



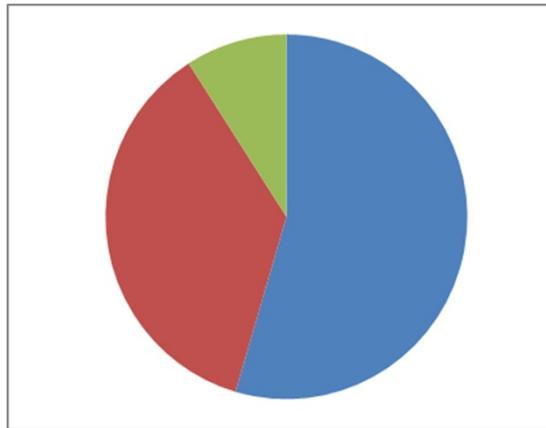
Looking = 8
Beating = 5
(N=13)



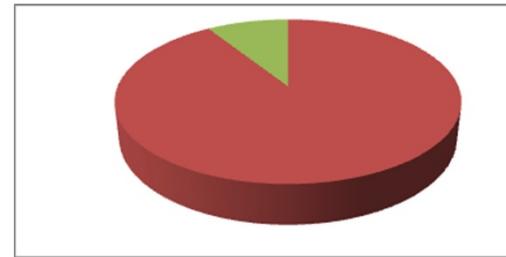
Bust level

Shrub 低木層

例 コクサグモ 幼体 真鶴

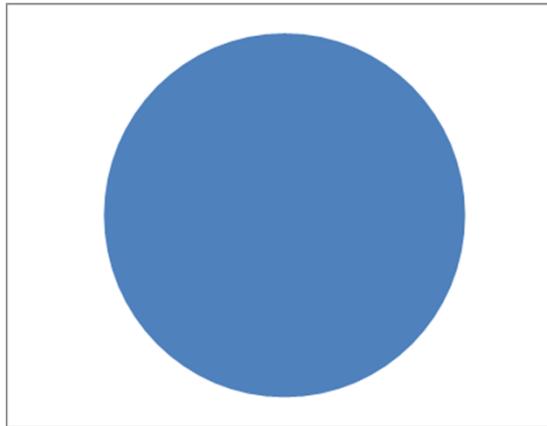


Looking = 6
Beating = 4
Sweeping = 1
(N = 11)

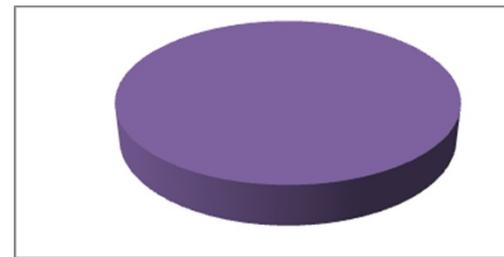


Bust level = 10
Nee level = 1

例 シボグモ 幼体 真鶴5月

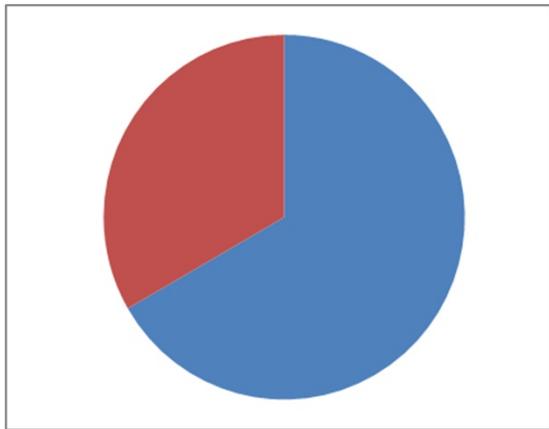


Looking =1

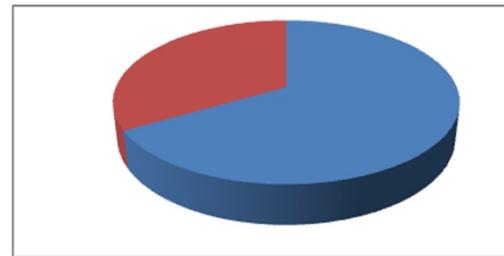


Foot level =1

例 オオヒメグモ 雌雄成体・幼体

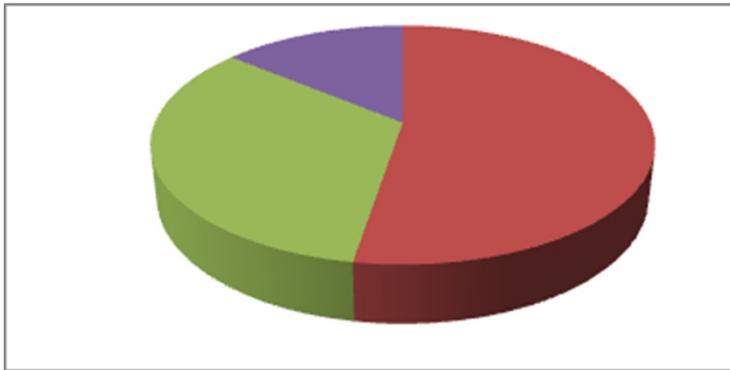


Looking = 2
Beating = 1



Over head level = 2
Bust level = 1

ほかの種類のカモの生息層



Bust level = 30

Nee level = 19

Foot level = 8

注目種 ~~アシハグモ~~ ヤマトカレハグモ



Bust level, Beating collected

<生態> ヤマオニグモ 網径60cm
網の上方に枯葉を集めた住居 縦糸26
+ (6本程度) 横糸48本 Bust level



成体が採集された種 23, May

- ギンメッキゴミグモ 幼体も150cm highに網
- コジャバラハエトリ Nee level
- ウデブトハエトリ & 亜 Nee level
- カタハリウズグモ Bust level
- マツモトオチバカニグモ Foot level
- ムナボシヒメグモ Bust level
- ニセアカムネグモ Nee level
- シロカネイソウロウグモ Bust level
- ヤミイロカニグモ Bust level
- チュウガタシロカネグモ Bust level

データの集積から見えてくるもの

- 幼体と成体、あるいは時季によって生息環境を違える種が出てくる可能性がある
- 幼体と成体で生息環境が変わらない種が多いと予想される
- 投げ込みデータしやすい設定にしておく必要がある
- 発見的価値のある情報になるか？